

審議した主な議案

令和2年度一般会計補正予算(第8回)

予算の概要は1面に掲載しています。

賛成討論(要旨)

渡辺ふき子(公明党)

本年は新型コロナウイルス感染症との攻防の一年であり、予算を含む補正予算3件も、国や東京都の補助金を利用して市民の健康と生活を守る大事な予算である。施策の周知と、市独自の支援の拡充を要望する。

都市計画税条例の一部を改正する条例

11月30日の本会議において総務企画委員会(村山ひでき委員長)に付託し、12月10日の委員会で審査を行いました。

本条例は、都市計画税率の特例措置の終了に伴い、令和3年度から令和5年度まで特例措置の延長を行うものです。

12月10日の委員会では、渡辺

(大)委員ほか1名による修正案を提出しましたが、否決した後、原案について起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

12月21日の本会議では、渡辺(大)議員ほか2名による修正案を提出し、否決した後、原案について起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

賛成討論(要旨)

清水がく(自民党・信頼)

東小金井駅北口区画整理事業や下水道管更新等の市のまちづくりを今後も前に進めるべきと考え、賛成をする一方で、市民の皆様からの大切な税金を理

解・納得していただける使い方を

いじめ防止対策推進条例

条例の概要は1面に掲載しています。

反対討論(要旨)

水上洋志(日本共産党)

いじめは、人権侵害・暴力であり、根絶のため努力するものだが、「児童等は、いじめを行ってはならない」と禁止を義務付けることは、鬱屈した気持ちを広げ、教員との信頼関係を損なうものであり、反対である。

令和2年度一般会計補正予算(第9回)

予算の概要は1面に掲載しています。

賛成討論(要旨)

水谷たかこ(こがおも)

本予算には賛成するが、PCR検査費補助の方法に懸念がある。重篤化リスクが高い人の感染拡大防止は大切だが、無症状者も含み一人1回だけで、しかも一斉に検査せずに効果があるのか、しっかりと検証されたい。

賛成討論(要旨)

片山 薫(市民力エル)

新型コロナウイルスワクチンのは国内での治験が少なく、接種2、3年後の副作用の確認もない。接種は決して強制ではないこと、副作用・副反応のその時点で分かる十分な情報を広報し、責任の所在を明確にさせるべき。

議員定数の削減を求める請願書

賛成討論(要旨)

湯沢綾子(自民党・信頼)

多摩地域の人口類似市の定数はいずれも22名で、本市だけ24名である理由はない。市民意向調査でも定数が多いとの回答が多数を占めた。新型コロナウイルス対策の財源も必要となる中、議会にも改革が求められている。

賛成討論(要旨)

宮下 誠(公明党)

改選後、前半2年間は議会改革として議員定数見直しの議論を丁寧に進め、後半2年間は定数2減を条例提案してきた。市民意向調査の結果を見ても、民意は明らかであり、議会として身を切る改革は必須である。

賛成討論(要旨)

渡辺大三(情報公開)

多摩26市の中で人口類似市は4市。小金井市を除く3市は定数22名であり、小金井市のみが24名である。市民意向調査でも「多い」と感じている市民が多い。この率直な民意に対して何らかの対応をすべきである。

市議会が実施中の市民意向調査で示された民意を踏まえて、次期市議選の議員定数を設定することを求める陳情書

反対討論(要旨)

岸田正義(みらい)

議員定数は、懇談会等で市民との共通理解を進めるなど、お互いが定数の根拠をつくる努力が必要であると訴えたが、9か月間状況は変わらない。請願紹介議員のその姿勢やプロセスこそが問題と考え、反対する。

反対討論(要旨)

坂井えつ子(緑・つながる)

定数と報酬はセットで議論を。住民自治のために必要な経費は、議会として確保すべき。それでも財源が必要なら、定数でなく報酬見直しの検討を。まずは市民アンケートを分析し、議会の権能強化にいかすことが必要。

新型コロナウイルス感染症防止と経済を立て直すためPCR検査の強化を求める陳情書

賛成討論(要旨)

板倉真也(日本共産党)

感染者の中には無症状の方が相当数おり、半数以上が感染経路不明となっている。家庭内感染が増加していることから、医療従事者や子どもと接する職種の社会的検査を広範囲に行うことが必要であり、賛成する。

庁舎及び新福祉会館の建設に関して、抜本的見直しを求める陳情書

賛成討論(要旨)

たゆ久貴(日本共産党)

新庁舎・新福祉会館建設は必要と考えるが、コロナ禍において、市税収が大きく減り、更なる市民生活支援が必要な緊急時であるため、総額110億円の事業は一旦立ち止まり、コストダウンなどの再検討が必要である。

反対討論(要旨)

田頭祐子(生活者ネット)

建設コスト削減は常に点検すべき。安全性第一の観点で新庁舎・新福祉会館ともに免震構造を可能であれば採用してほしい。しかし、南側に3千㎡の広場、北側を駐車場とする案は、事業の後戻りとなり、困難である。

市議会において、新庁舎と(仮称)新福祉会館建設に関し、市長案と市民案の比較検討を求める陳情書

賛成討論(要旨)

吹春やすたか(自民党・信頼)

新型コロナウイルス感染症は拡大し、市の財政計画の見直しも不安である。市長案の新庁舎建設費は約107億円と示された。本陳情の市民案は財政上、構造上、工期に関し重要な示唆と受け止め、比較検討すべきである。

反対討論(要旨)

村山ひでき(みらい)

いわゆる市民案は具体的な根拠等が示されていない。検証し、いわゆる市長案に優位性があった場合、検証コストへの住民監査請求等に耐えられない。また、プロポーザル当選案を無視し、比較することは非常識である。

反対討論(要旨)

白井 亨(こがおも)

これまでの経過から現時点では設計の見直し等には賛同できないが、中期財政計画によると今後の財政運営は厳しい。事業の見直しを提案したが、市長は動かない。市民生活に影響がないよう適切に対応を考えたい。

選挙管理委員・選挙管理委員補充員を選挙

選挙管理委員4人及び選挙管理委員補充員の選挙を12月21日に行いました。選挙管理委員については、永並議員、池田祥子氏、井塚忍男氏、久保治雄氏が当選しました。また、同補充員については、第1順位として河合賀代氏、第2順位として佐々木勇氏、第3順位として宮川俊男氏、第4順位として深見信子氏が当選しました。

議案の審議結果

○：賛成 ×：反対 △：退席 議：議長(原則、採決には加わらず)

付託先	議員													議決結果									
	自	公	み	共	お	会	情	改	ネ	市	緑	坂井えつ子											
清水がく	吹春やすたか	湯沢綾子	五十嵐京子	遠藤百合子	渡辺ふき子	小林正樹	紀由紀子	宮下誠	村山ひでき	鈴木成夫	岸田正義	沖浦あつし	たゆ久貴	板倉真也	水上洋志	白井亨	水谷たかこ	高藤康夫	渡辺大三	篠原ひろし	田頭祐子	片山薫	坂井えつ子

賛否が分かれたもの

議案名	自	公	み	共	お	会	情	改	ネ	市	緑	坂井えつ子												
小金井市都市計画税条例の一部を改正する条例	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小金井市都市計画税条例の一部を改正する条例に対する修正案(議員提案)	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
小金井市いじめ防止対策推進条例	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小金井市会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

全会一致となったもの

議案名	議決結果
小金井市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例、小金井市学童保育所条例の一部を改正する条例	厚 原案可決
小金井市障害者福祉センターの指定管理者の指定について、小金井市児童発達支援センターの指定管理者の指定について、小金井市立本町高齢者在宅サービスセンターの指定管理者の指定について	厚 可決
武蔵小金井南第3自転車駐車場外6施設の指定管理者の指定について	建 可決
小金井市諸収入金の督促及び延滞金に関する条例の一部を改正する条例	総 原案可決
令和2年度小金井市一般会計補正予算(第8回)、令和2年度小金井市一般会計補正予算(第9回)	予 原案可決
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例、令和2年度小金井市一般会計補正予算(第10回)	即 原案可決

【会派略称】 自：自由民主党・信頼の小金井 公：小金井市議会公明党 み：みらいのこがねい 共：日本共産党小金井市議団 お：小金井をおもしろくする会 会：こがねい市民会議
情：情報公開こがねい 改：改革連合 ネ：生活者ネットワーク 市：市民といっしょにカエル会 緑：緑・つながる小金井

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。